

第3回 高知赤十字病院

地域がん診療連携拠点病院 公開講座

定員
200名
入場無料
※事前申込不要

第3回目の「地域がん診療連携拠点病院公開講座」は、最近話題の「子宮頸がん」をテーマに開催いたします。

「子宮頸がん」による死亡者数は年間約2,500人、新規の患者数は8,500人。20～30代の出産世代にも発生するがんで、治療において子宮を摘出しなければならなくなる場合もあることから、次世代を担う子供の喪失等、社会的損失が大きいといわれています。一方で、「子宮頸がん予防ワクチン」の接種により高い予防効果があるとされていますが、ワクチン接種について正しい知識を身につけていただくことが大切です。

今回は、独立行政法人国立病院機構四国がんセンター手術部長 日浦昌道 先生を講師にお招きして、「子宮頸がんの診断と治療—患者さんご家族のための子宮頸がん治療ガイドライン—」についてご講演いただきます。なお、「高知県における子宮頸がん予防ワクチンの接種」について高知県健康政策部健康対策課課長補佐 浅野圭二 様からの講演と、当院第一産婦人科部長 平野浩紀 による「みんなで学ぼう!子宮頸がん予防ワクチン」と題した若者向けのちょっと笑える講演も行います。

「子宮頸がん予防ワクチン」接種の主な対象である中高生のみなさん、その保護者の方をはじめ、多くの県民の皆様方にぜひご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

日時 平成23年 **3月26日** (土)

13:30～17:00 (開場13:00)

場所 **高新文化ホール**

高知市本町三丁目2-15
高知新聞放送会館 東館7階
Tel:088-825-4321

会次第

開会挨拶 13:30～ 高知赤十字病院院長 中村章一郎

公開講座

座長：高知赤十字病院副院長 浜口伸正

●講演① 13:40～14:40

「みんなで学ぼう!子宮頸がん予防ワクチン」

高知赤十字病院第一産婦人科部長 平野浩紀 (および産婦人科病棟スタッフ)

●講演② 14:40～15:10

「高知県における子宮頸がん予防ワクチンの接種」

高知県健康政策部健康対策課課長補佐 浅野圭二 氏

●休憩 15:10～15:20

●特別講演 15:20～16:50

「子宮頸がんの診断と治療

—患者さんご家族のための子宮頸がん治療ガイドライン—」

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター手術部長 日浦昌道 先生

閉会挨拶 16:50～ 高知赤十字病院副院長 木村勝

■主催 高知赤十字病院

■後援 高知県、社高知県医師会、社高知市医師会、社高知県看護協会、社高知県薬剤師会、高知県病院薬剤師会、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、NHK高知放送局

■お問い合わせ 高知赤十字病院 企画課 TEL 088-822-1201代(内線1321) 高知市新本町2丁目13番51号